



## 平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年10月31日

上場会社名 株式会社コーセー

上場取引所 東

コード番号 4922 URL <http://www.kose.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 一俊

問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 中田 仁典 TEL 03-3273-1511

四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 平成29年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	144,615	15.0	23,467	25.5	23,940	36.1	15,212	51.1
29年3月期第2四半期	125,788	9.0	18,698	3.6	17,594	△5.9	10,070	△8.0

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 16,572百万円 (154.2%) 29年3月期第2四半期 6,518百万円 (△45.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	266.68	—
29年3月期第2四半期	176.53	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	252,192	182,989	67.0	2,961.42
29年3月期	247,191	177,130	66.3	2,871.60

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 168,931百万円 29年3月期 163,807百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	47.00	—	63.00	110.00
30年3月期	—	63.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	63.00	126.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	300,000	12.5	46,000	17.5	46,700	18.0	27,100	25.1	475.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 一社 （社名）－、除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	60,592,541株	29年3月期	60,592,541株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	3,548,572株	29年3月期	3,548,424株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	57,044,064株	29年3月期2Q	57,044,284株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は経済情勢の変動等に伴うリスクや様々な不確定要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、四半期決算短信（添付資料）5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

第2四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)

セグメントの名称	前第2四半期 累計		当第2四半期 累計		前年同期比較	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
化粧品事業	90,973	72.3	107,304	74.2	16,331	18.0
コスメタリー事業	33,731	26.8	36,174	25.0	2,443	7.2
その他	1,083	0.9	1,135	0.8	52	4.8
売上高計	125,788	100.0	144,615	100.0	18,827	15.0

区分	前第2四半期 累計		当第2四半期 累計		前年同期比較	
	金額 (百万円)	売上比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
営業利益	18,698	14.9	23,467	16.2	4,769	25.5
経常利益	17,594	14.0	23,940	16.6	6,345	36.1
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,070	8.0	15,212	10.5	5,142	51.1

## ① 概況

当第2四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)における日本経済は、企業収益や雇用情勢の改善等を背景に緩やかな景気回復の基調が続きました。化粧品業界におきましては、平成29年度の経済産業省化粧品出荷統計(暦年)によりますと、販売個数・販売金額ともに前年と比べ増加しました。また、海外において、当社グループが主に事業展開をしているアジア・米国経済につきましては、米国では着実な景気回復が続き、アジアでは総じて持ち直しの動きが見られました。

このような市場環境の中、当社グループは、中期経営計画「グローバルブランド育成期」の最終年度を迎え、「世界に通用するブランドの育成」と「経営資産の継続的なパフォーマンス向上」の2つの基本戦略のもと、世界で存在感のある企業への進化を目指し、一段と成長のスピードを加速させてまいりました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、全てのセグメント及び全地域において前年を上回り、売上高は前年同期比15.0%増の144,615百万円(為替の影響を除くと前年同期比14.8%増)となり、第2四半期としては5期連続で過去最高となりました。なお、連結売上高に占める海外売上高の割合は23.3%となりました。

利益につきましては、原価率が上昇したものの、増収効果に加え、販売費及び一般管理費の効率的な運用により、営業利益は23,467百万円(前年同期比25.5%増)、経常利益は23,940百万円(同36.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は15,212百万円(同51.1%増)となり、いずれも過去最高となりました。

## ② セグメント別の状況

## (a) 化粧品事業

区分		前第2四半期 累計	当第2四半期 累計	増減額	増減率 (%)
外部顧客に対する売上高	百万円	90,973	107,304	16,331	18.0
セグメント間の売上高	百万円	—	—	—	—
売上高計	百万円	90,973	107,304	—	—
営業利益	百万円	17,461	21,675	4,214	24.1
営業利益率	%	19.2	20.2	—	—

化粧品事業につきましては、ハイプレステージ領域において、新AQスキンケアを投入した高付加価値ブランド「コスメデコルテ」、高級化粧品を扱う(株)アルピオン及び米国タルト社が業績を牽引したほか、「ジルスチュアート」、「アディクション」などのメイク系ブランドも好調に推移しました。また、プレステージ領域においては、和漢植物エキス配合のスキンケアブランド「雪肌精」が堅調に推移したほか、日本で唯一、肌の水分保持能を改善する効果のある有効成分「ライスパワー®No.11」を配合した「ONE BY KOSÉ 薬用保湿美容液」ではプロモーション等を通じた新たなお客づくりを推進しました。

これらの結果、当事業の売上高は107,304百万円（前年同期比18.0%増）、営業利益は21,675百万円（同24.1%増）となりました。

## (b) コスメタリー事業

区分		前第2四半期 累計	当第2四半期 累計	増減額	増減率 (%)
外部顧客に対する売上高	百万円	33,731	36,174	2,443	7.2
セグメント間の売上高	百万円	324	187	—	—
売上高計	百万円	34,056	36,362	—	—
営業利益	百万円	2,987	3,575	588	19.7
営業利益率	%	8.8	9.8	—	—

コスメタリー事業につきましては、洗顔・クレンジングの「ソフティモ」やシートマスクの「クリアターン」等の重点カテゴリーブランドを展開するコーセーコスメポート(株)が牽引したほか、新製品の口紅が大ヒットした「ヴィセ」、高い機能性で好評な「ファシオ」、豊富なカラーパリエーションの「ネイルホリック」など、セルフメイクブランドが好調に推移しました。

これらの結果、当事業の売上高は36,174百万円（前年同期比7.2%増）、営業利益は3,575百万円（同19.7%増）となりました。

## (c) その他

区分		前第2四半期 累計	当第2四半期 累計	増減額	増減率 (%)
外部顧客に対する売上高	百万円	1,083	1,135	52	4.8
セグメント間の売上高	百万円	320	331	—	—
売上高計	百万円	1,404	1,467	—	—
営業利益	百万円	529	565	36	6.9
営業利益率	%	37.7	38.6	—	—

アメニティ製品の販売やOEM生産などを展開するその他の事業につきましては、売上高は1,135百万円（前年同期比4.8%増）、営業利益は565百万円（同6.9%増）となりました。

## ③ 地域別売上高(外部顧客に対する売上高)の状況

	前第2四半期 累計		当第2四半期 累計		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
日本	103,615	82.4	110,893	76.7	7,278	7.0
アジア	11,622	9.2	15,402	10.6	3,779	32.5
北米	10,165	8.1	16,931	11.7	6,765	66.6
その他	384	0.3	1,388	1.0	1,003	260.8
売上高計	125,788	100.0	144,615	100.0	18,827	15.0

(注) 第1四半期連結会計期間より、地域別売上高の区分を従来の「欧米他」から、「北米」及び「その他」に変更しております。なお、前第2四半期連結累計期間につきましては、変更後の区分方法にて作成したものを記載しております。

## &lt;日本&gt;

百貨店チャネルや専門店チャネルで展開する「コスメデコルテ」や高級化粧品を扱う(株)アルピオンなどが好調だったほか、ドラッグストアチャネルなども伸長しました。また、インバウンド売上につきましては、訪日外国人旅行者数の増加に伴い、百貨店チャネルを中心に増加しました。これらの結果、売上高は110,893百万円(前年同期比7.0%増)となりました。

## &lt;アジア&gt;

コスメデコルテをはじめとした重点グローバルブランドの販売が好調だった中国、免税チャネルの高成長が継続した韓国が牽引したほか、それ以外の国や地域においても概ね順調に推移した結果、売上高は15,402百万円(同32.5%増)となりました。

## &lt;北米&gt;

米国タルト社が計画を大幅に上回る業績で牽引した結果、売上高は16,931百万円(同66.6%増)となりました。

## &lt;その他&gt;

欧州や豪州などで米国タルト社のネット販売等が好調だった結果、売上高は1,388百万円(同260.8%増)となりました。

## (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の経済情勢につきましては、雇用・所得環境の改善傾向が続く中で、政府による各種政策等の効果もあつて、緩やかに景気回復していくことが期待されるものの、為替変動のリスクや新興国経済の減速、世界的な地政学リスクの影響などが懸念されます。

このような環境下、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、ハイプレステージ領域のブランドを中心として国内販売が好調に推移していることに加え、中国、韓国、米国タルト社も好調な業績が続くなど、売上高及び各段階利益ともに過去最高となりました。

これらの状況を踏まえ、平成29年4月28日に公表しました通期の業績予想を下記の通り修正いたします。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 282,000	百万円 41,500	百万円 41,900	百万円 23,800	円 銭 417.22
今回修正予想(B)	300,000	46,000	46,700	27,100	475.07
増減額(B-A)	18,000	4,500	4,800	3,300	—
増減率(%)	6.4	10.8	11.5	13.9	—
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	266,762	39,160	39,564	21,657	379.66

## 平成30年3月期(通期)の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

セグメントの名称	平成29年3月期		平成30年3月期		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
化粧品事業	199,028	74.6	228,800	76.3	29,771	15.0
コスメタリー事業	65,634	24.6	68,700	22.9	3,065	4.7
その他	2,099	0.8	2,500	0.8	400	19.1
売上高計	266,762	100.0	300,000	100.0	33,237	12.5

区分	平成29年3月期		平成30年3月期		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	売上比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)		
営業利益	39,160	14.7	46,000	15.3	6,839	17.5
経常利益	39,564	14.8	46,700	15.6	7,135	18.0
親会社株主に帰属する当期純利益	21,657	8.1	27,100	9.0	5,442	25.1

※主要な為替レートにつきましては、112円/米ドル、3.6円/台湾ドル、16.5円/中国元を想定しています。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	71,921	74,500
受取手形及び売掛金	38,328	40,082
有価証券	12,672	999
商品及び製品	20,982	28,050
仕掛品	2,086	2,822
原材料及び貯蔵品	17,660	20,124
繰延税金資産	5,647	6,799
その他	2,823	2,331
貸倒引当金	△47	△46
流動資産合計	172,074	175,665
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	37,087	37,653
減価償却累計額	△19,686	△20,213
建物及び構築物(純額)	17,400	17,439
機械装置及び運搬具	15,242	15,329
減価償却累計額	△11,759	△11,784
機械装置及び運搬具(純額)	3,482	3,545
工具、器具及び備品	34,511	35,340
減価償却累計額	△29,442	△29,860
工具、器具及び備品(純額)	5,068	5,480
土地	16,524	16,547
リース資産	1,637	1,753
減価償却累計額	△1,094	△1,195
リース資産(純額)	543	558
建設仮勘定	1,801	3,102
有形固定資産合計	44,822	46,674
無形固定資産		
ソフトウェア	1,445	1,381
のれん	8,479	7,967
その他	7,814	7,236
無形固定資産合計	17,739	16,585
投資その他の資産		
投資有価証券	6,864	8,262
繰延税金資産	3,156	2,520
その他	2,727	2,680
貸倒引当金	△193	△195
投資その他の資産合計	12,554	13,268
固定資産合計	75,116	76,527
資産合計	247,191	252,192

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,533	8,829
電子記録債務	11,978	16,130
短期借入金	1,016	600
リース債務	174	207
未払金	12,184	8,030
未払費用	10,964	10,496
未払法人税等	6,077	7,697
未払消費税等	1,242	1,399
返品調整引当金	1,998	1,802
その他	862	1,122
流動負債合計	56,033	56,317
固定負債		
リース債務	438	426
役員退職慰労引当金	2,346	2,451
退職給付に係る負債	8,207	7,080
繰延税金負債	2,583	2,426
その他	452	502
固定負債合計	14,027	12,886
負債合計	70,060	69,203
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,848	4,848
資本剰余金	6,388	95
利益剰余金	157,205	168,823
自己株式	△9,093	△9,095
株主資本合計	159,348	164,672
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,462	2,367
為替換算調整勘定	3,915	2,613
退職給付に係る調整累計額	△918	△721
その他の包括利益累計額合計	4,458	4,258
非支配株主持分	13,323	14,058
純資産合計	177,130	182,989
負債純資産合計	247,191	252,192

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	125,788	144,615
売上原価	30,733	39,403
売上総利益	95,054	105,211
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	8,375	8,697
販売促進費	23,995	25,636
運賃及び荷造費	4,629	5,469
給料及び手当	21,072	22,184
退職給付費用	910	961
法定福利費	3,179	3,436
減価償却費	1,440	1,461
その他	12,753	13,896
販売費及び一般管理費合計	76,356	81,743
営業利益	18,698	23,467
営業外収益		
受取利息	124	95
受取配当金	39	41
特許実施許諾料	18	17
有価証券償還益	70	2
為替差益	—	240
雑収入	128	121
営業外収益合計	383	519
営業外費用		
支払利息	3	3
支払手数料	3	25
為替差損	1,453	—
雑損失	25	16
営業外費用合計	1,486	46
経常利益	17,594	23,940
特別利益		
固定資産売却益	169	1
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	169	2
特別損失		
固定資産処分損	139	55
投資有価証券評価損	0	—
その他	—	1
特別損失合計	140	57
税金等調整前四半期純利益	17,623	23,884
法人税、住民税及び事業税	5,917	8,158
法人税等調整額	467	△1,072
法人税等合計	6,384	7,085
四半期純利益	11,238	16,799
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,168	1,586
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,070	15,212

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	11,238	16,799
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△273	904
為替換算調整勘定	△4,636	△1,349
退職給付に係る調整額	190	217
その他の包括利益合計	△4,719	△226
四半期包括利益	6,518	16,572
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,505	15,012
非支配株主に係る四半期包括利益	1,013	1,560

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年9月29日付で、連結子会社Tarte, Inc.の株式4.5%を6,983百万円で追加取得いたしました。この結果、当社の議決権比率は98.0%となり、当第2四半期連結累計期間において、資本剰余金が6,293百万円、非支配株主持分が689百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が95百万円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	化粧品事業	コスメタリー 事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	90,973	33,731	124,704	1,083	125,788	—	125,788
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	324	324	320	645	△645	—
計	90,973	34,056	125,029	1,404	126,433	△645	125,788
セグメント利益	17,461	2,987	20,448	529	20,977	△2,279	18,698

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメニティ製品事業・不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、以下のとおりであります。

(単位:百万円)

セグメント間取引消去	42
各報告セグメントに配分していない 全社費用	△2,322

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用及び基礎研究費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失、又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、重要な事項はありません。

3. 地域に関する売上高情報

(単位:百万円)

日本	アジア	北米	その他	計
103,615	11,622	10,165	384	125,788

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	化粧品事業	コスメタリー 事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	107,304	36,174	143,479	1,135	144,615	—	144,615
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	187	187	331	518	△518	—
計	107,304	36,362	143,666	1,467	145,134	△518	144,615
セグメント利益	21,675	3,575	25,250	565	25,816	△2,348	23,467

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメニティ製品事業・不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、以下のとおりであります。

(単位:百万円)

セグメント間取引消去	79
各報告セグメントに配分していない全社費用	△2,428

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用及び基礎研究費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失、又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、重要な事項はありません。

## 3. 地域に関する売上高情報

(単位:百万円)

日本	アジア	北米	その他	計
110,893	15,402	16,931	1,388	144,615

(注) 第1四半期連結会計期間より、従来の「欧米他」に含まれていた「北米」の重要性が増したため、「北米」及び「その他」に区分して記載する方法に変更しております。なお、前第2四半期連結累計期間の「3. 地域に関する売上高情報」は、変更後の区分に組み替えて表示しております。